

❖団体名	特定非営利活動法人ボランタリー・アーキテツ・ネットワーク
❖ASC2021 実施日	2026 年 4 月 1 日

❖セフルチェック結果

指針項目	項目数	実現している項目数	実現していない項目数
組織運営基準	18	11	7
事業実施基準	11	7	4
会計基準	11	10	1
情報公開基準	4	3	1
合計	44	31	13

❖アカウントビリティへの考え方

当法人は、発災時に被災者の避難生活環境を迅速に改善させることを活動の目的としています。私たちが考えるアカウントビリティとは、単に活動を記録に残すということではなく、寄付や助成という形で託された資金や資材を、被災地における切実なニーズに合わせて正しく使い、実際にどのような変化を起こせたかという「支援の効果」に対して責任を持つことだと考えています。災害現場で求められる素早い判断と、組織としての透明性を両立させ、被災された方々の声を聞きながら、常に誠実で確実な支援を行える組織であることを目指します。

❖アカウントビリティ向上の取組み紹介

**内部規定の網羅的な整備：** 組織運営の透明性と倫理性を持続的に担保するため、ジェンダー平等、ハラスメント防止、公正な物品調達、個人情報保護、および人事労務（採用・育成・福利厚生）に関する各規定を明文化し、役職員への周知を徹底します。

**中長期事業計画の策定とモニタリング体制の構築：** 単年度の活動にとどまらず、社会的なインパクトを最大化するための複数年（3～5 年）の中長期計画を策定します。あわせて、計画の進捗を定期的に評価・修正できるモニタリング指標を導入し、組織の方向性を明確化します。

❖上記取組みの実施状況

**各種規則の明文化：** 現在、モデル規程を参考に「ハラスメント防止規定」「倫理規定（物品調達等）」のドラフト作成に着手しており、次回の理事会にて承認を得る予定です。

**人事・人材育成の制度化：** 採用条件や福利厚生、人材育成の方針を記した「就業規則（または人事ハンドブック）」の整備を検討し、職員が安心して長く働ける環境作りを進めています。

**中長期計画の策定：** これまでは社会情勢の変化に迅速に対応する「フレキシビリティ」を優先してきましたが、組織の継続性の観点から、可能な範囲での 2026 年度を初年度とする 3 年計画の策定を開始します。また、事業報告に「目標達成度」の項目を設け、進捗状況について理事会および監事が計画との乖離をチェックできる体制への移行を検討します。